



HISTORY

歴史

イタリアのラグビーが世界的に広く知られるようになったのは1987年のラグビーワールドカップからだらう。16チームの招待大会だった記念すべき第1回大会に参加。開幕戦でニュージーランド代表と対戦し、6-70で大敗。この敗戦ををきっかけにイタリアラグビーの立て直しが図られた。

早くから海外のコーチや選手とプロ契約を結ぶクラブが多かったこともあり、イタリアのラグビーはそういった影響を受けて成長していった。

2000年からは伝統あるファイブネーションズ(欧州5か国対抗)にイタリアを加えたシックスネーションズ(欧州6か国対抗)がスタート。最初の頃の主力選手にはアルゼンチン代表選手などが並んだ。現在も南アフリカ出身など多くの海外出身選手がスコッドに名を連ねている。

サッカー熱の高いお国柄も、ラグビーファンも決して少なくない。強豪国との対戦時にはスタディオ・

オリンピコ・ディ・ローマが7万人~8万人超のファンで埋め尽くされることもある。代表チームは「アズーリ」の愛称で呼ばれている。

ROAD TO RWC 2019

近年の足どり

ラグビーワールドカップには第1回大会からすべて出場しているが、決勝トーナメントに進出したことはない。初めて2勝した2003年大会で監督を務めたのが、2007年大会、2011年大会で日本代表を率いたジョン・カーワンだった。

2016年南アフリカ代表に20-18と13度目の対戦で史上初めての勝利を挙げた。17年前には0-101という大敗を喫していたチームの大金星だった。2017年のシックスネーションズでは全敗も、光は見えている。

STYLE

戦力とプレースタイル

その南アフリカ代表戦勝利は、2016年のシックスネーションズが終わった後に指揮官に就任したコナー・オシェイ体制でのものだ。同監督は前職時代、英プレミアシッ

プの強豪、ハリクインズを率いて2011-12年シーズンを制したことがある。その手腕に大きな期待をかける人たちは多い。

チームの中心は大黒柱として長く活躍するNO8セルジオ・パリッセ主将も、楽しみな選手たちも複数いる。

注目はカルロ・カンナ(SO)だ。勝利を得た南アフリカ代表戦でもチームを勢いにのせるパフォーマンスを披露した。巧みにキックを蹴り分ける。

スピードスター、アンジェロ・エスポジトもWTB、FBで活躍する。国内の名門クラブ、トレビゾに所属し、何度もファンを沸かせてきた。逆サイドのWTBジョバンパッティスタ・ベンディッティとも決定力がある。両翼がもっと走り回る機会を掴めば、自然とチームも浮上することになる。

2017年シックスネーションズのイングランド代表戦では、タックル時にボール争奪を避けてオフサイドラインを発生させぬ『奇策』で敵将の怒りを買った。しかし、それも勝利を求めてのもの。コナー・オシェイ監督は情熱的だ

FACT FILE

協会創立▶1928年
エンブレム▶三色旗(緑赤白)
チームネーム▶Azzurri アズーリ
ウェブサイト▶www.federugby.it

f /Federugby
t @Federugby
i @italrugby

RWC RESULTS

1987 プール戦敗退
1991 プール戦敗退
1995 プール戦敗退
1999 プール戦敗退
2003 プール戦敗退
2007 プール戦敗退
2011 プール戦敗退
2015 プール戦敗退

HEAD COACH

コナー・オシェイ
Conor O'Shea



1970年10月21日生まれ。アイルランドのリリック出身。現役時代はランズダウンロードクラブのFBとして活躍し、アイルランド代表としてもプレーした。ロンドン・アイリッシュで本格的な

コーチングキャリアを開始し、ハリクインズで実績を残す。2016年のシックスネーションズ後から現職へ。11月の南アフリカ戦で勝利を挙げる大仕事をやってのけた。

PLAYERS TO WATCH

NO8
セルジオ・パリッセ
Sergio Parisse

世界有数のNO8として長く活躍する。18歳で代表初キャップを獲得。以後レギュラーとしてチームを支えるのは当然。存在感満点のリーダーとしてチームを率いてきた。2005年からフランス・トップ14のスタッド・フランセでプレー。世界トップクラスの力を証明している。



WTB
ジョバンパッティスタ・ベンディッティ
Giovannibattista Venditti

初めてのラグビーワールドカップは2011年。同大会に出場後順調に成長。今ではBKラインの中核として君臨する。2017年のシックスネーションズではWTBで出場も、CTBでのプレーも可。英プレミアシップのニューカッスル・フアルコンズに所属して経験値を高めた。



RWC2019 同プール対戦チームとの過去大会対戦成績

v ニュージーランド代表

- 6 - 70 RWC1987 (POOL3)
- 21 - 31 RWC1991 (POOL1)
- 3 - 101 RWC1999 (POOLB)
- 7 - 70 RWC2003 (POOLD)
- 14 - 76 RWC2007 (POOLC)

v 南アフリカ代表

対戦なし

v アフリカ地区1

-

v 敗者復活予選優勝チーム

-